

# Mizuho Daily Market Report

2023/3/29

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	131.18	130.89	▲0.68	▲1.62
EUR	1.0823	1.0845	+0.0047	+0.0077
AUD	0.6682	0.6709	+0.0058	+0.0040
SGD	1.3291	1.3273	▲0.0040	▲0.0090
CNY	6.8860	6.8763	▲0.0057	▲0.0030
MYR	4.4022	4.4010	▲0.0180	▲0.0682
THB	34.28	34.29	▲0.16	▲0.04
IDR	15085	15087	▲73	▲258
PHP	54.46	54.48	+0.19	+0.02
INR	82.23	82.19	▲0.18	▲0.47

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.570%	+4.0 bp	▲4.0 bp
日本(10年)	0.355%	+3.5 bp	+10.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.290%	+6.3 bp	▲0.2 bp
オーストラリア(5年)	3.029%	+10.4 bp	+9.3 bp
シンガポール(5年)	2.817%	+0.0 bp	▲6.7 bp
中国(5年)	2.674%	▲0.3 bp	+1.0 bp
マレーシア(5年)	3.493%	+1.4 bp	▲1.9 bp
タイ(5年)	1.906%	+0.1 bp	▲7.6 bp
インドネシア(5年)	6.405%	+1.8 bp	▲8.4 bp
フィリピン(5年)	5.875%	▲1.2 bp	▲2.3 bp
インド(5年)	7.205%	+4.4 bp	▲2.2 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	32,394.25	▲0.1%	▲0.5%
N225(日本)	27,518.25	+0.2%	+2.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,168.21	+0.1%	▲0.3%
ASX(オーストラリア)	4,072.46	+0.0%	▲0.9%
FTSTI(シンガポール)	3,255.54	+0.5%	+2.6%
SSEC(中国)	3,245.38	▲0.2%	▲0.3%
KLSE(マレーシア)	1,409.09	+0.9%	+0.2%
SETI(タイ)	1,606.91	+0.8%	+1.9%
JKSE(インドネシア)	6,760.328	+0.8%	+1.0%
PSE(フィリピン)	6,603.15	+0.1%	+1.1%
SENSEX(インド)	57,613.72	▲0.1%	▲0.8%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	263.49	+0.4%	+2.3%
金	1,973.54	+0.9%	+1.7%
原油(WTI)	73.20	+0.5%	+5.6%
銅	8,968.25	+0.2%	+2.4%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	130.30	—	132.20
EUR/USD	1.0730	—	1.0880
AUD/USD	0.6640	—	0.6750
USD/SGD	1.3260	—	1.3360
USD/CNY	6.8600	—	6.8980
USD/MYR	4.4100	—	4.4380
USD/THB	34.15	—	34.60
USD/IDR	15100	—	15280
USD/PHP	54.00	—	54.50
USD/INR	82.05	—	82.60

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は131円台前半でオープン。東京仲値にかけては実需の売りもあり130円台半ば付近まで下落。その後は日本株の上値の重さも重しとなってかドル円は同水準でもみ合い推移。ただ、東京時間クローズ前にはクロス円の上昇にもサポートされドル円もやや値を戻し、130円台後半で海外時間に渡った。

アジア通貨は銀行セクターを巡る懸念緩和からセンチメントが改善した一方で、米金利上昇を受けたドル上昇で上値は限られた。

海外市場のドル円はNYオープン後に130円台半ばまで下げるも、米1月住宅関連指標が予想を上回ると徐々に反発、その後発表された米3月消費者信頼感も予想を上回ったことでドル買いが加速し131円台前半まで上昇。しかし同時に行われた破綻した米地銀を巡る公聴会ではFRB副議長の「今後米銀規制を強化する必要がある」との発言が伝わり130円台後半まで小幅反落。その後再び131円台まで戻すも上値は重く、全般的に円買いとなる中で130円台半ばまで下落、終盤にかけて130円台後半まで戻してクローズ。

## 【金利】

米債利回りは中期ゾーンで金利が特に上昇し、カーブはフラット化。前日に引き続き、金融システムへの信用不安が後退したことで、債券市場は売り優勢となり、ニューヨーク未明に特に金利上昇となった。本日発表の3月消費者信頼感指数の数字が強めに出了ことも金利上昇をサポート。

## 【予想】

本日のドル円相場はもみ合いを予想。金融システム不安の後退により上昇している米金利がドル円のサポートとなる一方、スポ末で月末・四半期末の実需相場となり、方向感はいきいだろう。

## 【本日の予定】

(日本) 輪番 3-5y、5-10y、10-25y  
(アジア) 2月 豪 CPI  
(アジア) 3月 韓国 消費者信頼感  
(アジア) 4月 金融政策会合  
(欧州) 2月 英 消費者信用残高 / 住宅証券融資高 / 住宅ローン承認件数  
(欧州) 3月 仏 消費者信頼感  
(欧州) 4月 独 GfK消費者信頼感  
(欧州) 伊 国債入札(6M)  
(米国) 2月 中古住宅販売仮契約  
(米国) FRN入札(2Y)  
(米国) MBA住宅ローン申請指数  
(米国) 国債入札(7Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。